

7 時代の変化に対応した知識に関する学習

国際化、情報化、高齢化や資源・エネルギー問題に対応するため、私たちを取り巻く社会の変化に伴う課題について学び、住みよい明るい社会を築いていきましょう。

近年の世界を結ぶ交通・情報通信手段の著しい発達や経済・文化交流の拡大により、世界は急速に相互依存の度合いを高めており、異文化の相互理解や国際連帯の必要性がますます高まっています。

更には、人口・食料、資源・エネルギー等の地球規模の問題など、私たちが社会生活を営む上で広く理解し、学ぶべき課題が増えています。

また、高齢化対策は重要な課題ですが、高齢者自身の問題であるだけでなく、世代を異にするすべての人々、特に青少年が、将来高齢化社会を支える重要な役割を担う立場にあることを認識することが大切です。

こうした課題に積極的に対応するため、時代の変化を直視し、科学的な見方を育て、生涯にわたって学習する姿勢をもって、住みよい、明るい社会を築いていきましょう。

8 だれもが学ばなければならない基礎的・社会的課題の学習

だれもが生きていく上で学ばなければならない基礎的・社会的な課題について、すべての人たちが関心を持ち、ともに学び、助け合い、触れ合いのある豊かな社会を築いていきましょう。

私たちは、個人の尊厳と人権が尊重される社会を目指して、基本的人権に関する課題を科学的にとらえ、系統的な学習や生活に関連した身近な学習を通して、その意識の高揚を図っていく必要があります。

特に、同和問題の早急な解決は、国民的課題であり、人権意識の高揚を図るとともに、私たち一人ひとりが正しい人権意識を養い、人権を大切にす差別のない、明るい社会を築いていくよう努めることが大切です。

また、府民一人ひとりが、心身に障害のある人々等に対する正しい理解と認識を深めるとともに、障害のある人となない人等が、同じ社会の構成員として、お互いに触れ合い、共感し、ともに暮らしていくことのできる社会を築いていくための課題について学習していくことが大切です。

また、真の男女平等の実現のためには、社会生活の基礎的単位である家庭はもとより、社会のあらゆる分野に平等な立場でともに参加し、社会の発展を支えていく「男女共同参画型社会」を目指した学習が大切です。

更に、外国人の人権が尊重されるよう、国際的かつ社会的な理解を深め、人権意識の高揚を図る学習が大切です。

暮らしの中の安全は、府民一人ひとりにとって最も基本的な願いであり、交通事故や災害などから身を守り、安全な生活を送るための学習が大切です。

消費生活が多様化する中で、私たち自身が賢明な消費者として主体的、合理的な消費行動が行える知識を習得することが必要です。

このため、私たちが生きていく上で学ばなければならない、これらの基礎的・社会的課題について、すべての人たちが関心を持ち、ともに学び、豊かな社会を築いていきましょう。

